

## 用意するもの

テーブルが必要で、それ以外何も要らない。テーブルの幅はシャツの丈より少しだけ大きいと良い。テーブルの奥行きはシャツの胸幅の半分より大きいと良い。高さは腰の辺りが作業しやすい。

## 畳む手順

右手で右肩を、左手で左肩を持ち、体の前に下げる。



両手で保持したシャツをテーブルの右側から左側に広げる。



左手を襟の脇に置き、右手を裾の位置に当てる。  
(この直線がシャツを折畳む線になる。)



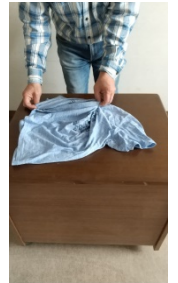
置いた両手の中間の位置に左手を動かし、シャツの両身ごろを掴まむ。



右手を左腕の下から延ばして襟の脇を掴まみ、先ほど当てていた裾の位置まで持って行き、



両方(襟脇と裾)を一緒に掴まむ。



両手でシャツを持ち上げ、



テーブルの右側から左側に広げる。



広がった処で、右側から左側に折り返す。



長袖の場合は(袖が右側に伸びているので)全体を裏返し、はみ出ている袖を左から右に折り返す。

前空きのシャツでも、ボタンを留めれば同じように畳めます。全てのボタンを留めなくても、上中下の三か所で充分です。

## シャツの畳み方

「伊東家の食卓」という番組でT-シャツの畳み方が紹介された。こればアパレル業界で使われているものと原理的には同一の技術であるが、とても素早く畳むことができる優れ業である。また、長袖のシャツでも使え、前空きのシャツでもボタンを留めれば使える。ボタンを全部留めなくても、上中下の三か所で充分である。

結構早く熟達するので、知らないのは大損である。素早く綺麗に畳めて、気持ちが良いので、お奨めの技術である。

石井未来館館長 石井峻

<http://ishii-miraikan.com>